

シンボルの城下広場、物産館…

中心市街地活性化協議会 谷口市長に提言書

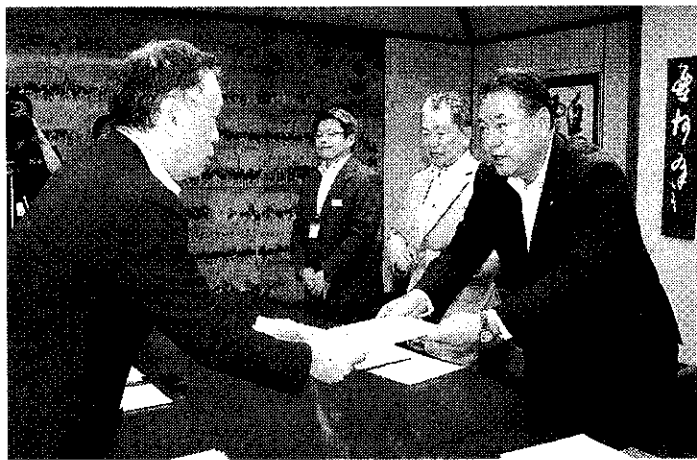
津山市中心市街地活性化協議会(会長・松田欣也津山商工会議所会頭)は28日、津山国際ホテル跡地活用策などを盛り込んだ「城下地区まちづくりプラン重点エリア」の再整備に関する提言書を谷口圭三市長に提出した。市は年度末をめどに策定するホテル跡地の活用プランなどに反映させる方針。

「城下地区重点エリア」

市、策定プランに反映

提言概要は、重点エリアを4街区に分け、▽「街区B」は、津山ザ・シロヤマテラス津商工会館や金融機関の山別邸が開業した「街建物」は他エリアへの移転を促し、観光センターA以外の中長期的な展望での再整備構想。▽第2ステップと位置付ける「街区C」は、ホテル跡地を津山城跡の一部復元とロケーションを生かしたシンボリックな城下広場とし、森本慶三記念館(登録有形文化財)をヒジタ

津山国際ホテル跡地活用策



市長に提言書を手渡す松田会長

浮田芳典運営委員長(いさし)は、手渡したらと市役所を訪れた松田会長が「シロヤマテラスによって大型連休や夏も交流人口増の成果が出ており、他の街にも有効活用されることを願っている」とあ

31日(ぶどうスイーツまつり) 勝央町内15店舗 「ぶどうスイーツまつり」が31日から9月8日まで、勝央町内の15店舗で開かれる。

食品ロス削減重要

美咲町 江与味 講話聞き住民学ぶ

美咲町江与味のほたろが「食品ロスについての講話があり、住民20人が削減への意識を高めることの重要性を学んだ。月に1回、体操などを行っている江与味の大山寿老松尾地区「恋来(こいこい)サロン」活動の一環。県から派遣の三宅直生岡山環境カウンセラー協会会長(67)は「総社市が講師を務め、日本での年間食品廃棄物の量は約2842万トで、そのうち、まだ食べられるのに捨てられている量は約646万トもある」と指摘。「メーカーや

供。期間中、複数の店舗で食べ歩くと抽選で景品が当たるスタンプラリーを実施する。問い合わせは、町役場産業建設部内の同実行委事務局(☎3112)。

り過ぎないことを考える一を挙げ、「日頃から意識して生活することが大切」とユーモアを交えて話した。大山北の区長でサロ代表の石川勝範さん(64)は「まだ食べられるものがこんなに捨てられているのかと驚いた。分かりやすい説明で、楽しく学ぶことができた」。

このほか、三宅会長は「座っての体操や脳のトレーニングを行ったり、特殊詐欺に引っかからないための注意点を事例を挙げて述べた」。

と定住といった内容 周辺町村に比べ少し遅

土地(農地)利用のあり

